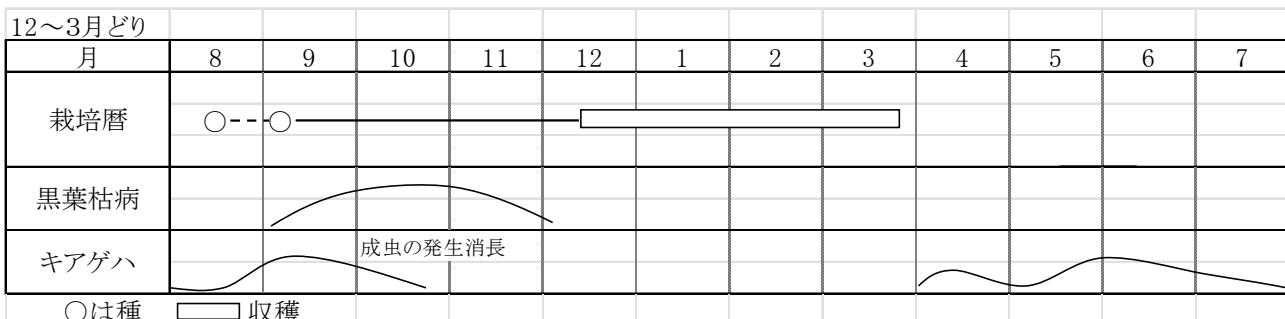


## (29) ニンジン

### 1 主要な作型及び病害虫の発病・加害時期



### 2 主要病害虫別防除方法

病害虫名 (病原体)	農薬によらない防除	農薬による防除
白絹病 ( <i>Sclerotium</i> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>①排水を良好にする。</li> <li>②酸性土壌では消石灰を施用する。</li> <li>③発病株は見つけ次第除去する。</li> <li>④収穫残さは集めて適切に処分する。菌核を形成している場合は、地表の土壌とともに取り除き、土中深く埋める。</li> </ul> <p>【参考事項】 高温時に発生しやすい。 酸性土壌で発生しやすい。 ニンジン以外にも多くの作物に寄生する。 菌核は土壌中で5~6年生存する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①土壤消毒を行う（土壤病害虫の防除法の項参照）。</li> <li>（例）ダゾメット粉粒剤（ガスターD微粒剤、バスアミド微粒剤）</li> </ul>
根腐病 ( <i>Rhizoctonia</i> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>①連作を避ける。特に前年多発したほ場では連作しない。</li> <li>②常発地では3年以上の輪作を行う。ただし、ゴボウ、ジャガイモ、ヤマノイモ、イチゴ、レタス、ホウレンソウなどは輪作作物から除外した方がよい。</li> <li>③低湿地での作付けは避け、ほ場の排水を良好にする。</li> <li>④発病株を除去する。</li> <li>⑤収穫が遅れると被害が増大するので、適期に収穫する。特に夏どりの作型では注意する。</li> </ul> <p>【参考事項】 春播き夏どりの作型に発生が多い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①全面土壤混和する。</li> <li>（例）ダゾメット粉粒剤（ガスターD微粒剤、バスアミド微粒剤） トルクロホスメチル粉剤（リゾレックス粉剤）</li> </ul>
黒葉枯病 ( <i>Alternaria</i> )	<ul style="list-style-type: none"> <li>①連作を避け、他作物との3年以上の輪作をする。</li> <li>②無病種子を用いる。</li> <li>③低湿地での作付けを避け、ほ場の排水を良好にする。</li> <li>④肥切れさせない。</li> <li>⑤収穫後に茎葉を集めて処分する。</li> </ul> <p>【参考事項】 高温時に多発し、発芽不良の原因となる。 病原菌は被害植物に付着して長く生存し、また、種子にも付着して種子伝染する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①種子消毒をする（野菜種子の消毒の項参照）。</li> <li>（例）イプロジオン水和剤（ロブラー水和剤） イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤（ベルクート水和剤） TPN水和剤（ダコニール1000）</li> <li>②発病初期から農薬を散布する。</li> <li>（例）イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤（ベルクート水和剤） 銅水和剤（Zボルドー、ICボルドー66D、コサイド3000） ビリベンカルブ水和剤（ファンタジスタ顆粒水和剤） ベンチオピラド水和剤（アフェットフロアブル） ボスカリド水和剤（カンタスドライフロアブル） ボリオキシン水和剤（ボリオキシンAL水和剤） 有機銅水和剤（キノンドーフロアブル） TPN水和剤（ダコニール1000）</li> </ul>

病害虫名 (病原体)	農薬によらない防除	農薬による防除
キアゲハ	①幼虫を見つけたら捕殺する。	①発生初期から農薬を散布する。 (例) アセタミブリド水溶剤（モスピラン顆粒水溶剤） クロルフェナピル水和剤（コテツプロアブル） シアントラニリプロール水和剤（ベネビアOD） マラソン乳剤（マラソン乳剤、マラソン乳剤50）
	<b>【参考事項】</b> 5月、7月及び秋口に発生が多い。セルリー、パセリも食害する。  ①対抗植物と輪作するか前作に対抗植物を栽培する。 ネコブセンチュウにはギニアグラス、クロタラリアスペクタビリス、マリーゴールドなど有効。 ネグサレセンチュウにはハブソウ、マリーゴールド、ルドベキアなど有効。 ②太陽熱消毒を行う（土壤病害虫の防除法の項参照）。 ③有機物を施用する。	①は種前に土壤くん蒸する。 (例) クロルピクリンくん蒸剤（クロールピクリンなど） D-D剤（D-D、DC油剤、テロン） ②は種前に粒剤を土壤混和する。 (例) イミシアホス粒剤（ネマキック粒剤） オキサミル粒剤（バイデートL粒剤、バイデートMK） フルオピラム粒剤（ネマクリーン粒剤、ビーラム粒剤） ホスチアゼート粒剤（ネマトリンエース粒剤）